

国立民族学博物館研究報告 vol.14-2; 表紙, 目次ほか

雑誌名	国立民族学博物館研究報告
巻	14
号	2
発行年	1989-10-25
URL	http://hdl.handle.net/10502/00009212

1989—14_卷2_号

国立民族学博物館 研究報告



中米の言語の語順の類型論的研究——八杉佳穂

Mahādevapūjā

——Mithilā 地方の事例報告——永ノ尾信悟

中国広西のチュアン(壮)族・ヤオ(瑶)族と漢族との政治=文化的関係の比較考察

——1368-1949年における——塚田誠之



国立民族学博物館

〒565 大阪府吹田市千里 万博公園 TEL. 06-876-2151

国立民族学博物館研究報告

14 卷 2 号

1989 年

目 次

中米の言語の語順の類型論的研究	八杉佳穂.....259
Mahādevapūjā	
——Mithilā 地方の事例報告——	永ノ尾信悟.....379
中国広西のチュアン(壮)族・ヤオ(瑤)族と漢族との政治=文化的関係の比較考察 ——1368-1949年における——	塚田誠之.....453
彙 報	509
国立民族学博物館研究報告寄稿要項	515
国立民族学博物館研究報告執筆要領	516

BULLETIN OF THE NATIONAL MUSEUM OF ETHNOLOGY

Vol. 14 No. 2

1989

- YASUGI, Yoshiho A Typological Study of Word Order of Middle American Indian Languages 259
- EINOO, Shingo *Mahādevapūjā*: A Study of a Daily Ceremony Performed in Mithilā 379
- TSUKADA, Shigeyuki Comparative Study on Political and Cultural Relationships between the Zhuang, the Yao and the Han Chinese: 1368-1949 453

彙 報 (平成元年4月～平成元年6月)

人事異動

(機関の長)

(任用更新：任期 元.4.1～3.3.31)

4月1日 国立民族学博物館長
梅棹 忠夫

(行政職)

(配置換)

4月1日 管理部長 田中 武雄
(山口大学庶務部長)
管理部長庶務課長 金谷 英夫
(岡山大学庶務部庶務課長)
滋賀大学庶務部庶務課長
糸金則由紀

(管理部長庶務課長)
情報管理施設資料室長
熊谷 俊夫

筑波大学図書館部情報システム課長)

九州大学経理部情報処理課長
川西 正光

(情報管理施設資料室長)

(昇任)

国立立山少年自然の家所長
和田 浩司

(管理部長)

(配置換)

5月29日 管理部研究協力課長
奥出 栄治

(管理部企画課長)

情報管理施設情報企画課長
高橋 柏

(管理部展示課長)

情報管理施設情報サービス課長
吉田 哲廣

(情報管理施設技術室長)

情報管理施設情報システム課長
熊谷 俊夫

(情報管理施設資料室長)

(教育職)

(名誉教授称号授与)

4月1日 君島 久子

(配置換)

4月1日 第一研究部教授 石毛 直道
(第四研究部教授)

(転任)

4月1日 東京外国語大学助教授
中山 和芳

(第四研究部助教授)

(昇任)

4月1日 東北大学助教授 瀬川 昌久
(第一研究部助手)

6月16日 第五研究部教授
ラドル・ケネス・リチャード

(第五研究部助教授)

第五研究部助教授 櫻井 哲男
(第五研究部助手)

(客員研究部門・昇任)

4月1日 第二研究部教授 井狩 彌介
(京都大学助教授・第二研究部助教授)

第五研究部教授 立川 武蔵

(名古屋大学助教授・第二研究部助教授)

(客員研究部門・併任)

4月1日 第二研究部助教授 関本 照夫
(東京大学助教授)

評議員

氏名	任期
石川 榮吉	(63. 9.15～2. 9.14)
伊地智善継	(63. 9.15～2. 9.14)
上山 春平	(63. 9.15～2. 9.14)
大西 昭男	(63. 9.15～2. 9.14)
岡本 道雄	(63. 9.15～2. 9.14)
北村 甫	(63. 9.15～2. 9.14)
木田 宏	(63. 9.15～2. 9.14)
窪 徳忠	(63. 9.15～2. 9.14)
熊谷 信昭	(63. 9.15～2. 9.14)
久山 康	(63. 9.15～2. 9.14)
土田 直鎮	(63. 9.15～2. 9.14)
坪井 清足	(63. 9.15～2. 9.14)
直江 広治	(63. 9.15～2. 9.14)

中尾 佐助 (63. 9. 15~2. 9. 14)
 中根 千枝 (63. 9. 15~2. 9. 14)
 西島 安則 (63. 9. 15~2. 9. 14)
 林屋辰三郎 (63. 9. 15~2. 9. 14)
 向坊 隆 (63. 9. 15~2. 9. 14)
 村山 松雄 (63. 9. 15~2. 9. 14)
 山村 雄一 (63. 9. 15~2. 9. 14)

運営協議員

綾部 恒雄 (63. 9. 15~2. 9. 14)
 石井 米雄 (63. 5. 16~2. 5. 15)
 伊藤 幹治 (63. 9. 15~2. 9. 14)
 大貫 良夫 (63. 9. 15~2. 9. 14)
 口羽 益生 (63. 9. 15~2. 9. 14)
 祖父江孝男 (63. 5. 16~2. 5. 15)
 長島 信弘 (63. 9. 15~2. 9. 14)
 松園万亀雄 (63. 9. 15~2. 9. 14)
 山口 昌男 (63. 9. 15~2. 9. 14)
 米山 俊直 (63. 9. 15~2. 9. 14)
 石毛 直道 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 大給 近達 (63. 9. 15~2. 9. 14)
 片倉 素子 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 佐々木高明 (63. 9. 15~2. 9. 14)
 杉村 棟 (63. 9. 15~2. 9. 14)
 杉本 尚次 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 竹村 卓二 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 友枝 啓泰 (63. 9. 15~2. 9. 14)
 藤井 知昭 (63. 9. 15~2. 9. 14)
 和田 祐一 (63. 9. 15~2. 9. 14)

情報システム運営委員

井上 如 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 及川 昭文 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 大林 太良 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 国井 利泰 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 柴田 正美 (62. 11. 16~1. 11. 15)
 田中 琢 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 辻 三郎 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 長尾 眞 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 中野 照海 (63. 10. 1~2. 9. 30)
 中山 和彦 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 八村廣三郎 (63. 10. 1~2. 9. 30)
 星 仰 (62. 11. 16~1. 11. 15)

山中 光一 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 吉田 将 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 佐々木高明 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 大給 近達 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 杉田 繁治 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 長野 泰彦 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 栗田 靖之 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 松澤 員子 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 小山 修三 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 藤井 龍彦 (63. 7. 1~2. 6. 30)
 田中 武雄 (1. 4. 1~3. 3. 31)

国内資料調査委員

藤本 英夫 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 萱野 茂 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 松下 亘 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 澤 四郎 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 木崎 和廣 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 田中忠三郎 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 犬塚 幹士 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 名久井文明 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 和田 正洲 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 都丸十九一 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 神崎 宣武 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 佐野 賢治 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 篠原 徹 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 山口 賢俊 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 林 道明 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 今村 充夫 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 大村 和男 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 坂本 育男 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 橋本 鉄男 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 倉田 亨 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 山路 興造 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 福田 栄治 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 岸田 定雄 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 小谷 方明 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 鈴木 尚夫 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 喜多 慶治 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 鶴藤 鹿忠 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 西村 綏子 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 勝部 正郊 (1. 4. 1~3. 3. 31)

彙 報

石塚 尊俊 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 高橋 克夫 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 坂本 正夫 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 野口 光敏 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 木下 尚子 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 下野 敏見 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 立平 進 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 泉 房子 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 小泊 立矢 (1. 4. 1~3. 3. 31)
 上江洲 均 (1. 4. 1~3. 3. 31)

館内各種委員会

○標本資料委員会委員

杉本 尚次 大塚 和義 利光 有紀
 杉村 棟 吉本 忍 小川 了
 福井 勝義 藤井 龍彦 石森 秀三
 森田 恒之 大丸 弘

○映像・音響資料委員会委員

竹村 卓二 松山 利夫 松原 正毅
 大森 康宏 黒田 悦子 林 行夫
 山本 泰則

○ビデオテープ委員会委員

竹村 卓二 松山 利夫 片倉 素子
 大森 康宏 端 信行 八杉 佳穂
 久保 正敏

○図書委員会委員

竹村 卓二 須藤 健一 守屋 毅
 吉田 集而 官本 勝 永ノ尾信悟
 大塚 和夫 石森 秀三 朝倉 敏夫
 大丸 弘 野村 雅一

○情報化委員会委員

佐々木高明 守屋 毅 長野 泰彦
 栗田 靖之 松原 正毅 江口 一久
 大塚 和夫 庄司 博史 藤井 龍彦
 小山 修三 杉田 繁治 櫻井 哲男
 泉 幽香

○HRAF 委員会委員

佐々木高明 石毛 直道 松澤 員子
 栗田 靖之 朝倉 敏夫 杉田 繁治

福川 圭子

○展示委員会委員

友枝 啓泰 大塚 和義 田邊 繁治
 江口 一久 黒田 悦子 泉 幽香

○広報委員会委員

藤井 知昭 中牧 弘允 秋道 智彌
 杉島 敬志 吉田 憲司 塚田 誠之
 山本 紀夫 崎山 理

○事業委員会委員

藤井 知昭 中牧 弘允 秋道 智彌
 杉島 敬志 永ノ尾信悟 小山 修三
 久保 正敏

○出版委員会委員

友枝 啓泰 周 達生 長野 泰彦
 佐々木史郎 片倉 素子 宮本 勝
 田邊 繁治 吉田 集而 和田 祐一
 和田 正平 塚田 誠之 庄司 博史
 山本 紀夫 八杉 佳穂 林 行夫
 崎山 理 ケネス・ラドル 垂水 稔
 野村 雅一

○施設整備委員会委員

藤井 知昭 石毛 直道 杉村 棟
 福井 勝義 大給 近達 森田 恒之

○国内資料調査委員会委員

杉本 尚次 秋道 智彌 大塚 和義
 中牧 弘允 松山 利夫 守屋 毅
 佐々木高明 吉田 憲司 大丸 弘
 櫻井 哲男

○大学院委員会委員

杉本 尚次 竹村 卓二 石毛 直道
 佐々木高明 片倉 素子 和田 祐一
 和田 正平 友枝 啓泰 藤井 知昭

○防災対策委員会委員

竹村 卓二 佐々木高明 杉本 尚次
 友枝 啓泰 藤井 知昭 田中 武雄
 金谷 英夫 奥出 栄治 森口 節之
 山本 政治 高橋 柏 吉田 哲廣
 熊谷 俊夫

海外における研究・調査・収集活動

氏名	官職	出発	帰国	行先
利光 有紀	助手(第一研究部)	1. 4. 1	1. 5. 10	中華人民共和国
秋道 智彌	助教授(第一研究部)	1. 4. 3	1. 4. 30	ヴェトナム
須藤 健一	助教授(第一研究部)	1. 4. 3	1. 4. 30	トンガ
朝倉 敏夫	助手(第四研究部)	1. 4. 3	1. 4. 30	ミクロネシア
周 達生	助教授(第一研究部)	1. 4. 20	1. 5. 9	中華人民共和国
松澤 員子	助教授(第二研究部)	1. 4. 20	1. 5. 13	アメリカ合衆国
八杉 佳穂	助手(第四研究部)	1. 4. 27	1. 6. 14	メキシコ, グアテマラ, ホンジュラス, ベリーズ
藤井 知昭	教授(第五研究部)	1. 5. 1	1. 5. 9	中華人民共和国, 香港
田邊 繁治	助教授(第二研究部)	1. 5. 1	1. 5. 9	中華人民共和国, 香港
杉村 棟	教授(第二研究部)	1. 5. 5	1. 6. 20	ソヴィエト連邦
栗田 靖之	助教授(第二研究部)	1. 5. 8	1. 7. 5	中華人民共和国
ケネス・ラドル	教授(第五研究部)	1. 5. 14	1. 6. 18	ドイツ連邦共和国, アメリカ合衆国
石森 秀三	助教授(第四研究部)	1. 5. 19	1. 6. 1	フランス, スペイン
江口 一久	助教授(第三研究部)	1. 5. 29	1. 6. 3	中華人民共和国
永ノ尾信悟	助教授(第三研究部)	1. 6. 8	1. 6. 17	アメリカ合衆国
石毛 直道	教授(第一研究部)	1. 6. 10	1. 6. 30	ドイツ連邦共和国
片倉 素子	教授(第二研究部)	1. 6. 20	1. 7. 18	連合王国, アラブ首長国連邦, カナダ
藤井 龍彦	助教授(第四研究部)	1. 6. 22	1. 7. 30	ペルー
石森 秀三	助教授(第四研究部)	1. 6. 25	1. 7. 5	連合王国, フランス
中牧 弘允	助教授(第一研究部)	1. 6. 28	1. 8. 16	ブラジル

来館者抄

4月4日	Mohamed Jaber AL ANSARI (バハレーン, アラビアン・ガルフ大学教授, 同大学文化顧問)
4月10日	Loureiro João(ブラジル, パラ州文化長官兼タンクレード・ネーヴェス文化財団理事長) 夫妻
4月15日	Abdul Salam MAJALI (ヨルダン, ヨルダン大学長)
4月28日	José Ignacio LOPEZ SORIA (ペルー, ペルー国立工科大学長), Genaro Humala AYBAR (ペルー, 同大学土木学部長)
5月9日	中国作家代表団一行 団長 蔣子竜(中国作家協会主席団委員, 中国作家協会天津分会主席)

団員	管 樺(中国作家協会北京分会主席)
	敖 斯 爾(中国作家協会内蒙古自治区分会副主席)
	林 希(中国作家協会天津分会作家)
	陳 喜 儒(中国作家協会会員, 中国作家協会外連部アジア・アフリカ処処長)
5月18日	在日外国大使館付陸軍武官一行 Alfred Augusto Yung (アルゼンチン), Michael Montgomery Hughes(オーストラリア), Francisco Fernandes da Rocha (ブラジル), Win Sein (ビルマ),

- Terrence C.R. Milne (カナダ),
 Gao Baoxing (中国), Jean-
 Claude Blanvillain (フランス),
 Heinz-Eberhard Maul (西独),
 Subhash Kapur (インド),
 Prio Utoyo Wardi (インドネシ
 ア), Yuval Daliot (イスラエル),
 Giorgi Meriggi (イタリア), Kim
 Man Kil (大韓民国), Cheah
 Phee Cheng (マレーシア), Sa-
 lvador Cienfuegos (メキシコ),
 Muhammad Naim Rana (パキ
 スタン), Rodolfo Estrellado (フ
 ィリピン), Zdzislaw Romano-
 wicz (ポーランド), Charles Ott
 (スイス), Surapol Pijitkade-
 eporu (タイ), Cengiz Alpozu
 (トルコ), Vitalli Frolov (ソ連),
 Anthony Lawrence Terrett (イ
 ギリス), Lee H.H. Smith (ア
 メリカ)
- 中国社会科学院植物研究所一行
 西サモア少年少女訪問団
 Sam SAILI, Mika SIMORA,
 Sapela IAFA (西サモア)
- 5月19日 Robert DINNERMAN (アメリカ
 合衆国, Naiman 社副社長),
 Pauline SALIGA (アメリカ合
 衆国, Art Institute of Chicago,
 Curator), John ZUKOWSKY (ア
 メリカ合衆国, Art Institute of
 Chicago, Curator)
- 5月20日 中国陝西省社会科学院一行
 団長 賈 騰 (陝西省社会
 科学院副秘書長兼陝西省
 社会科学企画弁公室主任)
 団員 余 樹 声 (同院歴史研
 究所研究員)
 史 国 瑞 (同院哲学研
 究所所長・副研究員)
 李 万 忍 (同院社会学
- 研究所所長・副研究員)
- 5月21日 ボー・バン・スン (駐日ベトナ
 ム社会主義共和国特命全権大
 使) 夫妻, グエ・カイン・ルオ
 ン (同大使館二等書記官)
- 5月22日 Cyril Alfred ROGERS (ジンバ
 ブエ, ジンバブエ国立美術館長)
- 5月23日 Abdul Rahman Tayyib AL-
 ANSARY (サウジアラビア, キ
 ング・サウド大学文学部長兼考
 古学科長)
- 5月25日 中国中央民族学院一行
 路 文 影 (中央民族学院副院
 長)
 裴 家 麟 (同教授)
 耿 金 声 (同教務処長)
 劉 樹 松 (同学生処長)
 李 文 潮 (同副教授)
 王 慶 仁 (同科研処副処長)
 曲 延 芳 (同外国系主任)
- 5月26日 L.A. ドンスキー (ソビエト連邦
 文化省博物館部主任), M.V. サ
 ハロフ (ソビエト連邦, 国立文
 学博物館長), A.A. スミルノフ
 (ソビエト連邦, 同館芸術装置
 係)
- 5月30日 梁井新一 (在大韓民国大使館特
 命全権大使) 夫妻
- 6月1日 林 東 治 (大韓民国, 年金事
 業団私学共済企画調整室長)
 鄭 東 錫 (大韓民国, 同企画
 予算課長)
 アジア経済研究所招請海外客員
 研究員一行
 蘇 燮 (大韓民国, 経済企
 画院課長)
 Lily KOSIYANON (タイ, タマ
 サート大学経済学部準教授)
 鄭 長 (大韓民国, 商工部
 課長)
 Sudhin Kumar MUKHOPADHY-

AY (インド, カリヤニ大学経済学部教授)

朴 烜 求 (大韓民国, 韓国労働研究院副院長)

盧 京 相 (大韓民国, 国立農業資材検査所課長)

Amal S. RAY (インド, インド社会経済変動研究所教授)

Carlota E. GUINO (アルゼンチン, コルドバ国立大学農学部助教授)

崔 洋 夫 (大韓民国, 韓国農村経済研究所部長)

陸 国 忠 (中国, 中国国際問題研究所アジア太平洋研究室副主任)

Kanoksak KAEWTHAP (タイ, チュラロンコン大学経済学部助教授)

Wijekoon M. TILAKARATNE (スリランカ, ペラデニヤ大学経済

学部講師)

MD. Mosleh UDDIN (バングラデシュ, ダッカ大学統計学部準教授)

Abel G. ISHUMI (タンザニア, ダルエスサラーム大学教育学部教授)

Asit BANERJI (インド, インド経営研究所教授)

6月2日 英国シェフィールド大学日本研究センター学生一行

6月5日 渡邊左武郎 (北海道開拓記念館長), 矢島睿 (同館主任学芸員)

6月15日 野村忠清 (国際交流基金専務理事), 松原直道 (同企画室調査役)

6月20日 M.A.A. WINORNO (インドネシア, 東ジャワ州地方観光部長), Maulana ATMOOJOYA (インドネシア, 東ジャワ州観光局観光マーケット課長)

国立民族学博物館研究報告寄稿要項

1. 国立民族学博物館研究報告は、民族学（文化人類学）に関する論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等を掲載・発表することにより、民族学（文化人類学）の発展に寄与するものである。
2. 国立民族学博物館研究報告に寄稿することができる者は、次のとおりとする。
 - (1) 国立民族学博物館（以下「本館」という。）の教官（客員教授等を含む。）及び本館の組織、運営に関与する者
 - (2) 本館が受け入れた各種研究員及び研究協力者
 - (3) その他本館において適当と認められた者
3. 原稿を寄稿する場合は、論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等のうち、いずれであるかをその表紙に明記するものとする。なお、この区分についての最終的な調整は、国立民族学博物館研究報告編集委員会（以下「編集委員会」という。）において行う。（編集する場合は、原則として論文及び資料・研究ノートを1段組、その他のものを2段組として取り扱う。）
4. 原稿執筆における使用言語は、日本語、英語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語及びドイツ語のうちいずれを用いても差し支えない。ただし、その他の言語を用いる場合は、編集委員会に相談するものとする。
5. 特殊な文字、記号、印刷方法等が必要な場合は、編集委員会に相談するものとする。
6. 寄稿する原稿が論文で、日本語を使用する場合は、原則として英文により500語程度の要旨を付けるものとし、その他の言語による論文の場合は、編集委員会に相談するものとする。なお、寄稿する原稿については、執筆者名のローマ字表記及び原稿表題の英文を付記しなければならない。
7. 寄稿する原稿の枚数は、原則として制限しない。ただし、編集する場合は編集委員会の判断により、紙数等の関係から分割して掲載することがある。
8. 寄稿する原稿は、必ず清書（欧文の場合はタイプ）し、原稿の写し1部を添付するものとする。なお、図、表のスマ入れ、レタリングは、編集委員会で処理する。
9. 寄稿された原稿は、審査委員会において審査のうえ、採否を決定する。なお、原稿は、採否にかかわらず原則として返却しない。
10. 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
11. 原稿の執筆に当っては、別に定める「国立民族学博物館研究報告執筆要領」による。
12. 原稿の寄稿先及び連絡先は、次のとおりとする。

〒565 大阪府吹田市千里 万博公園10-1
国立民族学博物館内
国立民族学博物館研究報告編集委員会（電話 代表 06-876-2151）

国立民族学博物館研究報告執筆要領

1. 原稿は、200字詰原稿用紙を使用し、横書きとする。
2. 原稿は、図、表を除き、原則として黒インクを使用する。
3. 日本語を使用して執筆する場合は、原則として当用漢字、現代かなづかいを用いる。
4. 句読点、括弧、各種記号等は、原則として原稿用紙のマス目1字分の扱いをする。
5. 原稿中の年号、月日及びその他の数字は、原則としてアラビア数字を用いる。なお、年号は、原則として西暦とする。
6. 図及び表は、一図、一表ごとに別紙に書き、本文とは別に一括して添付するものとする。なお、図、表ごとに通し番号（「図1」、「表1」等の要領により記入）、図、表名及び説明並びに出典等を記し、本文原稿の欄外には、それぞれのそう入箇所を指定するものとする。
7. 写真は、写りの明瞭なもので、手札判以上の大きさに焼き付けたものに限る。図及び表の扱いに準じて通し番号、説明を付けたうえ、そう入箇所を指定するものとする。ただし、カラー写真は、原則として受け付けない。
8. 本文又は脚注において文献を指示する場合は、カギ括弧を付け、著者名、文献刊行年次、引用ページ数の順に下記の例に従って記載する。

[柳田 1942: 67-69]
[Leach 1961: 123]
[柳田 1942: 67-69, 1944: 20-22; Leach 1961: 123]

ただし、同年次刊行物の場合は、アルファベット順により、下記のように記載するものとする。

[柳田 1942a: 20-22] [柳田 1942b: 10]
9. 脚注は、一つ一つ別紙に記し、通し番号を付ける。なお、本文中に脚注をそう入する箇所には、脚注の当該番号を記入し、別紙の脚注には、本文のページ数を明記するものとする。
10. 本文及び脚注において参照した文献は、すべて原稿の末尾にまとめて下記の方法により記入する。
 - (1) 文献の配列は、著者名のアルファベット順とすること。
 - (2) 文献の記載は、著者名、年号、論題（タイトル）、誌名、巻、号、出版社名の順とすること。欧文の雑誌名及び単行本名は、イタリック体にするため、原稿には下線を引くこと。また、ローマ字人名は、スモール・キャピタルとするため、二重下線を引き、日本語の場合は、論題にカギ括弧、雑誌名及び単行本名に二重のカギ括弧を付けること。雑誌の巻数及び号数は、原則としてアラビア数字を用いること。

(例)

論文の場合 (1)

石田英一郎

1948 「文化史的民族学成立の基本問題」『民族学研究』13(4): 311-330。

Bohannan, P.

1973 Rethinking Culture: A Project for Current Anthropologist. Current Anthropology 14(4): 357-372.

論文の場合 (2)

杉浦 健一

1942 「民間信仰の話」柳田国男編『日本民俗学研究』岩波書店, pp. 117-143。

Leach, Edmund

- 1964 Anthropological Aspects of Language: Animal Categories and Verbal Abuse.
In Eric H. Lenneberg (ed.), New Directions in the Study of Language,
The M. I. T. Press, pp. 23-63.

単行本の場合

泉 靖一

- 1966 『文明をもった生物』 日本放送出版協会。

Murdock, George P. (ed.)

- 1960 Social Structure in Southeast Asia. Viking Fund Publications in Anthropology No. 29, Wenner-Gren Foundation for Anthropological Research, Inc.

翻訳書の場合

エリアーデ, M.

- 1974 『シャーマニズム——古代的エクスタシー技術——』 堀一郎訳 冬樹社。

van Gennep, Arnold

- 1960 The Rites of Passage. M. B. Vizedom and G. L. Caffee, trans., The University of Chicago Press.

国立民族学博物館研究報告 14卷2号

〔監 修〕

梅 棹 忠 夫

〔編集委員長〕

友 枝 啓 泰

〔編集委員〕

片 倉 素 子

ケネス・ラドル

崎 山 理

周 達 生

田 邊 繁 治

垂 水 稔

長 野 泰 彦

林 行 夫

宮 本 勝

八 杉 佳 穂

山 本 紀 夫

和 田 正 平

平成元年10月25日発行 非売品

国立民族学博物館研究報告 14卷2号

編集・発行 国立民族学博物館
〒565 吹田市千里万博公園10-1
TEL 06 (876) 2151 (代表)

印 刷 中西印刷株式会社
〒602 京都市上京区下立売通小川東入
TEL 075 (441) 3155 (代表)

Bulletin of the National Museum of Ethnology
vol.14 no.2
1989

- YASUGI, Yoshiho A Typological Study of Word Order of Middle
American Indian Languages
- EINOO, Shingo *Mahādevapūjā*: A Study of a Daily Ceremony
Performed in Mithila
- TSUKADA, Shigeyuki Comparative Study on Political and Cultural
Relationships between the Zhuang, the Yao and the
Han Chinese: 1368-1949



National Museum
of Ethnology

Senri Expo Park, Suita, Osaka, Japan
phone 06-876-2151

ISSN 0385-180X